

トピックス 64 新人研修

実践編：体験して学ぶ

10月 呼吸循環管理 11月 カテーテル管理

呼吸・循環管理＜吸引と排痰＞

日時 平成28年10月19日（水）10:00～12:00
ねらい：排痰のメカニズムがわかり、呼吸ケアのための体位交換・吸引を安全、安楽に行うための知識・技術について学ぶ。
対象：ラダーレベルⅠ
場所：多目的ホール
講師：集中ケア認定看護師 川村優紀子さん
慢性呼吸器疾患看護認定看護師 乙黒恵子さん
皮膚排泄ケア認定看護師 志村友紀さん

★事前課題：学研ナースング基礎習得コース
「今どきのバイタルサインの評価法」を聴講。
★研修生は聴診器を持参して下さい。

看護局教育委員会

集中ケア認定 川村看護師（ICU）



専門知識をもつ認定看護師から、フィジカルアセスメントや技術を学ぶことができ、より臨床に役立てられる力がつけられたと思います。 2C 甘利



聴診器を当てる部位はここではないかな？

呼吸音はちゃんと聞こえてる？

吸引カテーテルってどこまで入れてるの？
模型モデルで確認しながら吸引



演習を通して、体位ドレナージや吸引、呼吸音の聴取などの知識や技術について、学習を深めることができました。 5B 黒川

自分が患者役になることで、つらい姿勢やどうやったら楽になるのかを体験し学ぶことが出来ました。 5B 中野



排痰のしやすい体位、患者さんが楽になる姿勢を、患者さんの声を聴きながらつくりましょう。

慢性呼吸器疾患看護認定 乙黒看護師（8B病棟）

臨床に近い環境で技術を習得することができました。実際に体位ドレナージを体験して患者さんにとって安楽な姿勢をふまえた方法を知ることができ、その日から病棟で実践することができました。

5B 木村



ラダー I 研修

カテーテル類の管理・静脈注射と点滴管理

【日時】平成28年11月16日(水) 14:15~17:15

*いつもと時間が異なりますので注意してください。

【ねらい】

- ドレーン・チューブの目的・方法・管理について理解でき
ドレーン挿入中の観察、看護について学ぶ
- 静脈注射・暴露対策のガイドラインに基づいて
静脈留置針挿入および管理について学ぶ

【場所】多目的ホール

★学研ナーシング基礎習得コース

「2. 導尿・膀胱留置カテーテルの挿入と管理」

「9. 安心・安全に実施できる採血法と注射法」

を聴講して研修に臨んで下さい。

看護局 教育委員会 ラダー I 担当

実際に模型を通して実技を行い、カテーテルを通して患者への侵襲を与えることやそこから起こる感染のリスクなどを学ぶ事ができた。 3 A 古木



患者様や自分自身を感染から守るためにも正しい知識や技術の取得をして現場でいかしたい。

3 A 杉田



清潔操作に注意して、慎重に・・・

実際に触れる事が出来、カテーテルの復習の機会となった。学んだ事を生かし今後に繋げていきたい。 3B 塩島



血管、どこ？わかる？
これね！わかった！



患者さんの苦痛を最小限するために安全面に配慮することや、感染対策を徹底していく事が大切だと学びました。 3B森田

実技を通して技術や知識について確認できた。正しい清潔操作、無菌操作を実践していきたい。 3A岩間

